

第2編 | 後期基本計画

第2部

第2期薩摩川内市まち・ひと・しごと創生 総合戦略（重点プロジェクト）の推進

総合戦略（重点プロジェクト）の位置付け	132
1 生き生きと働くまち薩摩川内プロジェクト ～薩摩川内で働く～	133
2 暮らしたいまち薩摩川内プロジェクト ～薩摩川内で暮らす～	135
3 子育てするなら薩摩川内プロジェクト ～薩摩川内で育てる～	136
4 豊かに暮らす薩摩川内プロジェクト ～薩摩川内をつくる～	137

第2期薩摩川内市まち・ひと・しごと創生 総合戦略（重点プロジェクト）の推進

総合戦略（重点プロジェクト）の位置付け

本市は、「第2次薩摩川内市総合計画」において、持続可能性をキーワードとして、地域の「安全・安心」が守られ、地域に「活力」がみなぎり、多様な主体の参画＝「共生」のもと、安定した「行財政」が運営され、それらが相互に連携し合いながら効果的に機能する好循環の仕組みを構築する必要があるとの考え方に立ち、「人と地域が躍動し 安心と活力のあるまち 薩摩川内」を目指すべき将来都市像として掲げています。

今後も、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、市民ニーズの多様化、厳しい財政状況等を考慮しつつ、この将来都市像の実現を目指して、政策・施策を展開していくことが重要です。

この「第2期薩摩川内市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点プロジェクト）」は、第2次薩摩川内市総合計画で示した6つの分野体系を横断した4つのプロジェクトからなります。「薩摩川内市人口ビジョン」において整理した地域課題と、目指すべき将来展望を実現していくために、①雇用、②移定住、③結婚・出産・子育て、そして、④地域づくりの4つの分野について、第1部において掲げられたもののうち、重点的かつ戦略的に取り組むべき施策を再掲したものです。

具体的には、

- ①生き生きと働くまち薩摩川内プロジェクト
- ②暮らしたいまち薩摩川内プロジェクト
- ③子育てするなら薩摩川内プロジェクト
- ④豊かに暮らす薩摩川内プロジェクト

からなります。分野ごとに施策の方向性を記した第1部とは別の観点から、各分野体系を横断する又は複数の分野体系にまたがる重点施策として取りまとめたものが、この「第2期薩摩川内市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点プロジェクト）」です。

1

生き生きと働くまち薩摩川内プロジェクト

～薩摩川内で働く～

(1) 基本目標

全国的に人口減少が進行している中、本市においても人口減少とその対策は大きな課題になっています。人口減少の要因として、地域雇用の絶対数が十分でないことや、求職者の希望職種と求人とのアンマッチング、また高校卒業後の進学などにより、多くの若者が地域外へ流出してしまうことなどが挙げられています。

そこで、国・県等の関係機関や、事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会等と連携して、本市の雇用を支える産業が更に元気になるための方策、薩摩川内の特性・強みを活かした産業の創出等を進めることにより、新たな雇用を生み出し若者等が地域外へ流出する状況から地域内企業への就職の流れを創り出します。

同時に地域が持つ資源や技術等を活かした観光、次世代エネルギーや農林漁業の六次産業化などの分野や、地域の生活を支える医療や福祉などの分野において、多様な労働力を地域内で確保、供給し、一定規模の雇用の受け皿としていくとともに、地域内の若者や女性などの雇用環境を改善することにより、本市での雇用確保、所得向上及び地域経済の活性化を図ります。

基本目標における数値目標

成果指標	現状値	目標値
農業産出額（Ⅲ-1-①～④）	159億円 (H30)	162億円 (R6)
年間雇用保険被保険者数（Ⅲ-2-②）	25,431人 (H30)	26,000人 (R6)
企業誘致数（立地協定件数）（5件/年間） ※累計値（Ⅲ-2-③）	—	25件 (R6)
市内の主な直売施設等の販売額（Ⅲ-3-③）	554,680千円 (H30)	665,000千円 (R6)

(2) 施策の方向性

①一次産業の振興と六次産業化の促進

- ◆ 担い手づくりの推進（Ⅲ-1-①）
- ◆ 持続可能な魅力ある農山漁村の基盤整備の推進（Ⅲ-1-②）
- ◆ 農林漁業の六次産業化の促進（Ⅲ-1-⑤）

②地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興

- ◆ 地域経済活性化と多様な人材を活かす雇用対策の推進（Ⅲ-2-①）

- ◆ 中小企業の支援・育成（Ⅲ－2－②）
- ◆ 企業立地等による雇用機会の創出（Ⅲ－2－③）
- ◆ 次世代エネルギー産業の育成・誘致（Ⅲ－2－④）
- ◆ 先端技術産業の育成・支援（Ⅲ－2－⑤）

③市民ぐるみによるシティセールスの推進と観光物産ビジネスの展開

- ◆ 交流人口・関係人口・インバウンドの拡大（Ⅲ－3－①）
- ◆ 物産販売力の強化（Ⅲ－3－②）
- ◆ 観光物産施設の充実（Ⅲ－3－③）
- ◆ 観光物産マネジメントの充実（Ⅲ－3－⑤）

④人と物流を支える港湾機能の充実

- ◆ 川内港の利活用推進（Ⅳ－6－②）

⑤スポーツ活動を楽しむ環境整備

- ◆ スポーツ振興による地域の活性化（Ⅴ－5－③）

施策の方向性における数値目標

成果指標	現状値	目標値
認定農業者数（団体を含む。）（Ⅲ－1－①）	198人 (H30)	210人 (R6)
林業就業者数（Ⅲ－1－①）	121人 (H30)	130人 (R6)
漁業者数（団体を含む。）（Ⅲ－1－①）	1,194人 (H30)	1,200人 (R6)
六次産業化等により新たに生まれた商品・サービスの数（Ⅲ－1－⑤）	0件 (H30)	30件 (R6)
次世代エネルギービジネス導入件数（発電事業は50kW以上）※累計値（Ⅲ－2－④）	84件 (H30)	100件 (R6)
先端技術産業分野に取り組んだ事業数※累計値（Ⅲ－2－⑤）	3件 (H30)	15件 (R6)
宿泊者数（Ⅲ－3－①）	340,569人 (H30)	400,000人 (R6)
外貿コンテナ数（Ⅳ－6－②）	20,372TEU (H30)	32,000TEU (R6)
スポーツ合宿団体数（Ⅴ－5－③）	78団体 (H30)	100団体 (R6)

2

暮らしたいまち薩摩川内プロジェクト

～薩摩川内で暮らす～

(1) 基本目標

本市は、みどり豊かな本土地域、東シナ海に浮かぶ甌島地域からなり、これら豊かな自然環境のもと、地域コミュニティが醸成され、また、治安も良く、九州新幹線や南九州西回り自動車道など交通アクセスも良好なことから、市民の定住意向も高く暮らしやすいまちです。

しかしながら、少子化や若年層の域外への進学・就職に伴う人口減少が顕著なことから、地元企業や大学等との連携による人材創出、移定住の推進強化を図ることにより、若年層の流出を防ぎ、本市への転入を増加させます。

基本目標における数値目標

成果指標	現状値	目標値
転入者数 — 転出者数（年次）（Ⅳ－2－④）	△239人 (H30)	△129人 (R6)

(2) 施策の方向性

①市民ぐるみによるシティセールスの推進と観光物産ビジネスの展開

- ◆ 市民と一体となったシティセールスプロモーションの充実（Ⅲ－3－④）

②快適な住環境と利便性の高い市街地の整備・保全

- ◆ 移住・定住の促進（Ⅳ－2－④）

③効果的かつ効率的な行政経営の推進

- ◆ 広域連携等の推進（Ⅵ－4－③）

施策の方向性における数値目標

成果指標	現状値	目標値
シティセールスサポーター登録者数（Ⅲ－3－④）	5,690人・事業者 (H30)	6,800人・事業者 (R6)
定住助成制度利用者数（年度） (Ⅳ－2－④)	43人 (H30)	46人 (R6)
奨学金返還支援事業登録者数（累計） (Ⅳ－2－④)	42人 (H30)	142人 (R6)
大学との連携事業数（Ⅵ－4－③）	3事業 (H30)	6事業 (R6)

3

子育てするなら薩摩川内プロジェクト

～薩摩川内で育てる～

(1) 基本目標

本市は、小児・産科・周産期医療機関がそろっており、また、子ども医療費助成制度や病児保育事業、小児救急医療等の子育て支援が充実しています。

しかし、若年層の市民ニーズにおいて、結婚については、結婚資金、職業・仕事上の問題が具体的障害として挙げられたほか、出会いを求め自ら積極的に参加する傾向は低い結果となっています。

また、妊娠・出産においては、複数の子どもを持ちたいという要望があるものの、子育て・教育に係る経済的負担の増、年齢的理由などから出産を踏みとどまっている状況にあります。

子育てに関しては、待機児童の解消が図られていない状況に加え、経済的負担が大きいこと、「自分の時間を優先したい」といった生活スタイルの変化に対する不安や苦勞などが少子化への要因となっている状況が見られます。

これらのことから、行政が地域や民間事業者などによる出会いの場づくりを支援し、その上で若者の安定した雇用を確保することにより結婚への不安解消を図っていくこととします。また、妊娠・出産・子育てについては晩婚化等に伴うハイリスク妊娠・分娩などに対応できる小児・産科・周産期医療体制を確保しつつ、子育てに係る経済的負担の軽減や緩和を図るほか、仕事と生活のバランスのとれた環境を創出することにより、子育ての不安を解消し、理想とする子どもの数が持てる環境を実現します。

基本目標における数値目標

成果指標	現状値	目標値
合計特殊出生率（I-2-②）	1.88人 (H29)	1.90人 (R5)
この地域で子育てをしたいと思う親の割合（I-2-④）	95.5% (H30)	97% (R6)

(2) 施策の方向性

- ①安心して子どもを産み育てられる支援の強化
 - ◆ 出会い・結婚新生活の支援（I-2-①）
 - ◆ 多様なニーズに応じた子育て支援の充実（I-2-②）
 - ◆ 保育サービスの充実（I-2-③）
 - ◆ 子育て相談体制の充実（I-2-④）
- ②未来をたくましく生きる力を育む教育の推進
 - ◆ 教育環境の充実（V-1-③）
- ③地域全体で子どもを守り育てる環境整備
 - ◆ 地域の教育力の向上（V-2-②）

施策の方向性における数値目標

成果指標	現状値	目標値
婚姻件数（I-2-①）	434件 (H29)	450件 (R5)
待機児童数（I-2-③）	2人 (H31)	0人 (R6)

4

豊かに暮らす薩摩川内プロジェクト

～薩摩川内をつくる～

(1) 基本目標

山、里、街、そして島と、市域が広く多様な暮らしが営まれている薩摩川内市において、自然環境や治安が良い、地域住民同士の関係が良いことなどから、生活しやすいという意見が多い一方で、甕島地域を始めとした、市の中心部から離れた地域では、交通の便が悪い、買い物が不便などの問題点が指摘されており、また甕島地域では、健康や医療に関する施設やサービスが不足しているとの意見も少なくありません。一方、市街地部分では、防災面での不安や、人が集まり賑わいのある拠点が無いなどの意見が見られます。

こうした市内の各地域が抱える課題を克服し、持続できる地域を形成するためには、中長期の観点から地域それぞれの在り方や地域の暮らしを維持していくための仕組みを構築していく必要があります。

このため、都市としての機能確保と集落生活圏の維持の2点から、地域形成の在り方を検討し、その実現に必要な施策を具体的に示し取り組みます。

また、地域での多様性のある暮らしを実現するため、地域に応じた医療・福祉サービスや防災体制等について、自助・共助・公助により、関係者が相互に協力・連携して、地域での生活支援のためのシステムを構築します。

基本目標における数値目標

成果指標	現状値	目標値
休日や夜間など緊急時の医療体制対応率（Ⅰ－1－③）	71.9% (H30)	73% (R6)
過去1年間の介護予防元気度アップ事業への参加率 (ポイント転換者数/65歳以上人口数)（Ⅰ－3－①）	28.1% (H30)	30% (R6)
居住誘導区域内の人口密度（Ⅳ－2－①）	30.7人/ha (R1)	30.7人/ha (R6)
自主活動、市民活動に取り組み、補助金を活用している 地区コミ、NPO、ボランティア団体等（Ⅵ－1－③）	31団体 (H30)	60団体 (R6)

(2) 施策の方向性

- ①生涯を通じた健康づくりの推進と医療体制の充実
 - ◆ 健康に対する市民意識の向上（Ⅰ－1－①）
 - ◆ 健康づくりの推進（Ⅰ－1－②）
 - ◆ 医療体制の整備（Ⅰ－1－③）
- ②地域が支える高齢者福祉の充実
 - ◆ 介護予防と生きがいづくりの推進（Ⅰ－3－①）

- ③市民の安全確保と防災対応の推進
 - ◆ 地域防災力の向上（Ⅱ－１－①）
- ④安全・安心な水の安定供給と生活排水の適正な処理の推進
 - ◆ 汚水処理人口普及率の向上（Ⅱ－３－③）
- ⑤快適な住環境と利便性の高い市街地の整備・保全
 - ◆ 中心市街地の形成と魅力ある発展（Ⅳ－２－①）
 - ◆ 都市基盤の整備・保全（Ⅳ－２－②）
 - ◆ 住環境の保全（Ⅳ－２－③）
- ⑥次世代通信基盤整備とICT、IoT等の活用推進
 - ◆ 次世代通信基盤等の整備（Ⅳ－５－①）
 - ◆ 地域情報化推進計画に基づく施策の推進（Ⅳ－５－②）
- ⑦未来をたくましく生きる力を育む教育の推進
 - ◆ 小中一貫教育の充実（Ⅴ－１－①）
- ⑧学び活かす生涯学習と多文化共生の推進
 - ◆ 生涯学習の展開とネットワーク化（Ⅴ－３－①）
 - ◆ 生涯学習を進めるコーディネート機能の充実（Ⅴ－３－②）
- ⑨スポーツ活動を楽しむ環境整備
 - ◆ 生涯スポーツの推進（Ⅴ－５－①）
- ⑩地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援
 - ◆ 地域の自立・活性化への支援（Ⅵ－１－①）
 - ◆ 持続可能な地域づくりへの支援（Ⅵ－１－③）

施策の方向性における数値目標

成果指標	現状値	目標値
特定健康診査受診率（Ⅰ－１－①～②）	57.6% (H29)	70% (R6)
天辰第一地区土地区画整理事業進捗率 (Ⅳ－２－②)	93.2% (H30)	100% (R6)
天辰第二地区土地区画整理事業進捗率 (Ⅳ－２－②)	5.5% (H30)	40% (R6)
木造住宅耐震化率（Ⅳ－２－③）	82.2% (H30)	95% (R6)
光回線サービスエリア利用可能世帯率 (Ⅳ－５－①)	79.4% (H30)	100% (R6)
すてきびと登録者数（Ⅴ－３－②）	60人 (H30)	70人 (R6)
各種スポーツ教室の参加者数（Ⅴ－５－①）	1,567人 (H30)	1,700人 (R6)
小さな拠点数（Ⅵ－１－③）	0地区 (H30)	7地区 (R6)